

- ▶ 水巻町の地形は主に平野部が占めており、人口私有林が1ha程度と少なく森林経営可能な森林もないため、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- ▶ 令和2年度は以下の取組により、公園・公共施設において木材利用を行うことで、町民に対する普及啓発を行った。
 - 森林環境譲与税を活用して、総合運動公園の木製ベンチのリニューアルを行ったり、中央公民館に平常時は椅子として利用し、災害時には避難所の間仕切りとして利用できるパーティションチェアユニットを導入することにより、広く町民が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作った。
 - 令和3年度は、町立保育園において木製靴箱と本棚の導入を行い、木材利用の普及啓発を図る。

□ 事業内容

- ①総合運動公園の木製ベンチリニューアル事業
- ②中央公民館へのパーティションチェアユニット導入事業

- ①老朽化した木製ベンチの座面部分のリニューアルを行った。
耐久性については、擬木等による製品には劣るが、木材ならではの温かみを広く知ってもらうことで、木材利用の普及啓発を行った。
- ②平常時は椅子として利用しながら、災害時には避難所における間仕切りとして活用できるものとなっており、国産材を使用することで木と触れ合い、木の良さを知ってもらうことができ、避難者のストレスの軽減も図っている。

【事業費】2,279千円（うち譲与税2,279千円）

【実績】改修ベンチ20台、パーティションチェアユニット14台



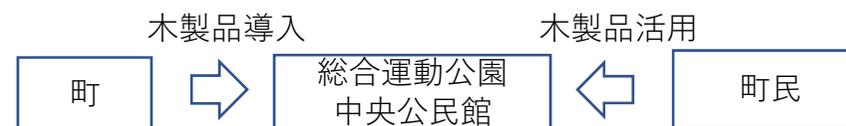
(①リニューアルベンチ)



(②パーティションチェアユニット)

□ 事業スキーム

公園・公共施設への木製品導入事業



□ 工夫・留意した点

- ②中央公民館へのパーティションチェア導入事業
町内の木製品制作グループと連携し、オーダーメイドによる独自性の高い木製品を導入することにより、一般的な木製品よりも発信力のある木材利用の普及啓発を図った。

□ 基礎データ

| | |
|---------------|---------|
| ①令和2年度譲与額 | 2,434千円 |
| ②私有林人工林面積（※1） | 1ha |
| ③林野率（※2） | 9.7% |
| ④人口（※3） | 28,997人 |
| ⑤林業就業者数（※4） | 2人 |

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より